

★第2回救急法競技会 競技内容★

① 三角巾8つ折り競技

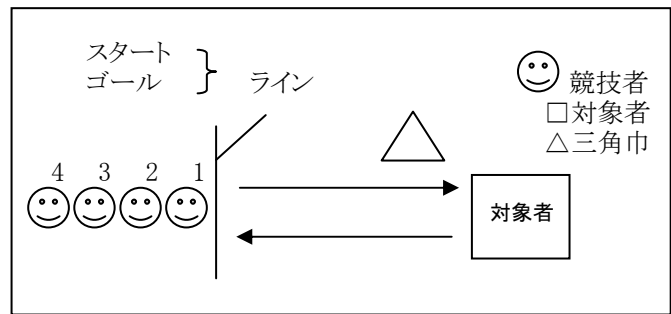
競技内容:開き三角巾を8つ折りにし、何本結べるかを競います。

1. 競技手順

- ① 競技者は、**4人1組**で参加します。
- ② 競技者は、スタートの合図で、1人ずつ前方に進み出て、三角巾を開いた状態で手に取り、8つ折りを作ったあと、本結びで対象者に結び付け、制限時間内で何本結べるかを競います。
- ③ 1人が1回に結べるのは、1本のみとします。
結び終わったら、スタート(ゴール)地点に戻り、次の競技者にタッチして交代します。
以降、競技時間まで繰り返します。
- ④ 競技時間は5分です。
- ⑤ 競技時間を経過した時点で競技は終了です。
結び途中のものがあっても、直ちに手を離してください。

2. 採点(評価)

結ばれた三角巾の本数と、8つ折り、本結びの正確性を評価します。



② 三角巾リレー競技

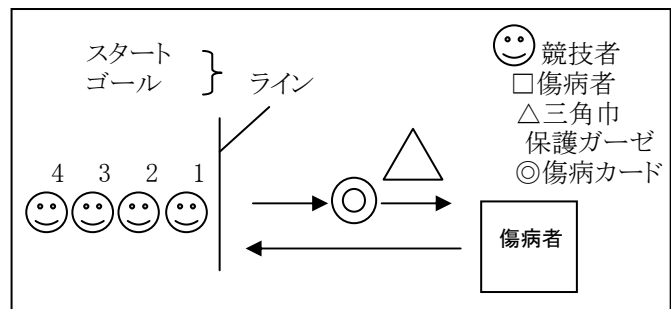
競技内容:三角巾を使用した傷の手当を競います。

1. 競技手順

- ① 競技者は、**4人1組**で参加します。
- ② 競技者は、スタートの合図で傷病者のところへ行き、1人ずつ順番に傷病カードを引き、そこに書いてある部位(額、耳、頭、胸、手、前腕、下腿、膝のいずれか)に三角巾と保護ガーゼを使用して手当を行います。
- ③ 手当が完了したら、スタート(ゴール)地点に戻り、次の競技者にタッチして交代します。
以降、最終競技者まで繰り返します。
- ④ 競技時間(スタートからゴールまで)は、8分以内です。
- ⑤ 最終競技者(4番目の競技者)がスタート(ゴール)地点に戻った時点で、その組の競技は終了です。

2. 採点(評価)

三角巾の正確性と4番目の競技者が競技を終了するまでの時間を評価します。



* 競技に使用する資機材は、主催者で準備します。
* ホイッスル、無線機、メモ、携帯電話などあらゆる備品の競技場への持ち込みを禁止します。

★第2回救急法競技会 競技内容★

③ 救命応急手当競技

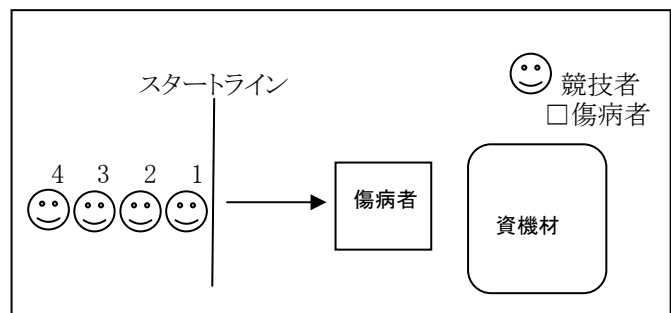
競技内容: 傷病者を救急隊に引き継ぐまでの詳しい観察と必要な手当てをチームで競います。

1. 競技内容

- ① 競技者は、**4人1組**で参加します。
- ② 競技者は、スタートの合図で全員が協力して傷病者を観察し、必要な手当てを行います。
手当てで使用できる資器材は傷病者の近くにありますが、
使用できる資器材は、三角巾数枚、保護ガーゼ数枚、毛布1枚、担架1台、副子1セット、あて物数枚、AED(トレーナー)1台、人工呼吸用マスク1個、筆記用具、電話機です。
- ③ 救急車(隊)要請に基づき、救急隊(役)が到着したら、救急隊に観察した内容と実施した手当について引き継ぎ(報告)をしてください。
- ④ 競技時間は、8分以内です。
- ⑤ 救急隊への引継ぎを終了した時点で、その組の競技は終了です。

2. 採点(評価)

観察と手当ての正確性及び救急隊員への引継ぎ内容を評価します。



④ 心肺蘇生法競技

競技内容: 気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDを用いた除細動の手技を競います。

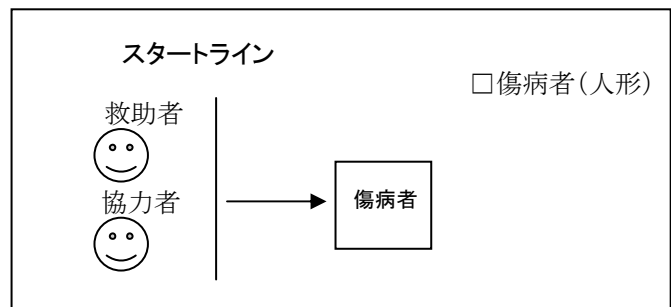
1. 競技手順

- ① 競技者は、**2人1組**で参加します。
1人は第一発見者(救助者)、もう1人はAEDを持ってくる方(協力者)となります。
- ② 救助者及び協力者のどちらの担当になるかは、競技実施直前にくじで決めます。
- ③ スタートの合図で、傷病者(心肺蘇生法訓練用人形)への手当てを行います。
- ④ 心肺蘇生法訓練用人形及びAEDトレーナーを用います。
- ⑤ 協力者がAEDをもっていくタイミング及び競技終了の合図は審判員が行います。

- 傷病者の設定: 意識なし、呼吸なし、循環なし、頸椎損傷なし、途中回復なしの成人
一次救命処置を必要とする人
- 心肺蘇生法競技は、総合成績に含みません。

2. 採点(評価)

心肺蘇生法の標準実技の正確性を、目視、記録用紙によって評価します。



* 競技に使用する資器材は、主催者で準備します。
* ホイッスル、無線機、メモ、携帯電話などあらゆる備品の競技場への持ち込みを禁止します。